



田尻町議会だより

たじりの風

Vol.88

平成23(2011)年
8月1日発行

8345

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000

小学校でのプールの授業



主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 第2回定例会議決結果 5 頁
- ★ 災害対策特別委員会報告 6 頁
- ★ 議会のうごき 6 頁

一般質問

- 明貝 一平 議員 1. まちづくり助成金の新設を
- 吉開 育子 議員 1. 粗大ごみ（不燃ごみ）の負担軽減と定期収集を求める
2. 容器包装プラスチックの分別をもっとわかりやすく説明することを求めます
- 小川 雄司 議員 1. 家庭用防災行政無線受信機の導入を
2. 災害時避難場所の明確化及び津波避難ビルの指定を
3. 救急体制・医療施設の確保を
4. 備蓄物資・機材の補充を
5. LPガス協会と防災協定締結を
- 伊藤 幸男 議員 1. 野球活動を希望する生徒に対し弾圧的な事があったのか
- 仁部 順行 議員 1. 本町としての地震、津波対策は
- 高木 謙治 議員 1. 防災計画について

明貝 一平 議員

問 まちづくり助成金の進捗を問う

答 財源確保の目途があり、システムづくりを進めている

問 以前に一般質問した「まちづくり助成金」について、1年間の調査研究の進捗状況を問う。

答 町民税の1%を財源にする考えはあるが、助成金を決定する組織づくりやシステムづくりに時間がかかるものと考えている。現在自主的に活動されつつある「地域交流会」などでも議論していただき、今後も助成金システムを形づくっていききたい。



以前の田尻川クリーン作戦

吉開 育子 議員

問 小さな不燃ごみの定期収集を
求める

答 泉佐野市と協議して検討する

問 田尻町は小さな不燃ごみを出す場合、45ℓ袋に入れて(手数料500円)出すことになっている。食器類や電池、鍋などの小さな不燃物は45ℓになるまで置いておかなければなりません。共産党議員団が行った町民アンケート調査では、「粗大ごみをもう少し出しやすい金額にしてほしい。」「不燃ごみは、細かなものが多いので定期収集にしてほしい。」など切実な声が寄せられ、定期収集にしてほしいという要望が65.4%ありました。小さな不燃物は20ℓでも出せるように料金を下げ、カン・ビン・ペットボトルと同じ日に定期収集することを求める。

答 不用なごみはすぐに処分したいということは十分理解できるが、ごみの減量化が目的となっており、安易に処分できるようにすることは、現時点では考えていない。田尻町は泉佐野市と清掃組合をつくっているのので、泉佐野市と協議してから検討する。

問 プラごみに入れてはならない
物をポスターに表示せよ

答 ごみの出し方ポスターの更新時
に考える

問 容器包装プラスチックの分別で、高齢者から「入れてはいけない物を書いた表がほしい。」という声が寄せられています。ごみの出し方を書いたポスターに、入れてはいけないものを書いて、啓発ともしっかりとした説明を求める。

答 入れてはならない物の説明については、ごみの出し方ポスターの更新時に検討する。



小川 雄司 議員

問 家庭用別受信機の導入を

答 情報伝達手段の検討にすでに
取り組んでいる

問 「拡声器の音が聞こえづらい、家で直接聞こえる方法を検討してほしい」との要望は、災害発生の第1報を知らせる防災行政無線の機能から考えて、改善すべきことです。平成21年3月末現在で全国の市町村のうち、86%の自治体が屋外の拡声器とあわせ家庭用別受信機を一部または全戸に配布しています。田尻町でも導入を求めます。



答 東日本大震災以降、情報伝達手段の再検討をすすめるべき状況にある。本町においても家庭用別受信機や他の方法も含め、情報伝達手段の検討にすでに取り組んでいるところである。

問 津波避難ビルの指定を

答 民間マンションなどでの対応も
考えている

問 「田尻町も海から近く、まわりに高い建物があまりないので、もし東日本大震災級の津波が来たらどこへ逃げればいいのかと思う」との声が寄せられています。専門的には津波避難ビルを指定することが大事であります。ふれ愛センターや3階以上の民間ビル所有者に協力を求め、津波避難ビルに指定するように求めます。

答 津波に対する緊急避難場所として、民間マンション等での対応も考え、現在すでに協力を得るための協定についてすすめているところである。

問 野球活動を希望する生徒に対し、弾圧的行為があったのか

答 中学生野球育成会は認めるがクラブ活動の選択は生徒の意思を尊重

問 3月24日校長に、野球部復活の申し入れを行った際、野球部の復活ができない場合、生徒が野球活動を続けられるように「中学生野球育成会」が全面的支援を行う考えを示したところ、前校長は一定の理解をしていた。4月11日より10人の生徒により初練習を行い、15日には15人の生徒が練習を行った。18日から始まったクラブ体験後から徐々に生徒が減り、22日には誰も練習にこなくなった。生徒の保護者からは、生徒が先生から説得されたと聞いている。なぜ中学生野球育成会が中学生に野球活動をさせるのがいけないのか。

答 中学校教職員に聞きとりしたところ、弾圧的なことはなかったと理解しており、現校長も中学生野球育成会は認めている。中学生が田尻町の中で、野球活動ができる場の一つであって、そこを地域の方々がバックアップ

をして、指導者のもと、生徒が好きな野球ができるというのは非常に素晴らしい。新1年生に対しては、生徒集会でクラブ活動の意義を紹介し、その後1週間自由に各クラブを体験し、本人及び保護者の意志によって、正式入部している。



問 本町の地震、津波対策は

答 ハザードマップ等、早急に見直す

問 東日本大震災では想定以上の大津波が発生し、多くの人々が犠牲になりました。本町は大阪湾の中に位置し、昔から津波等の被害も少なく、安全で安心して暮らせる町と確信をしていました。しかし、近い将来、東南海、南海地震が発生すると言われています。国や各自治体、本町でも地震防災マップや、津波ハザードマップ等をつくっていると思うが、予想以上の津波が発生すれば、本町には身近な所に、安心して避難出来る場所がないのが現状です。地震や津波から町民の命を守るには、どこにどんな危険があり、どこに避難場所があるのか、正しい知識と心構えを身につけておくことが必要ではないのか。

答 向こう30年以内に約60%から70%の確率で発生するであろう東南海、南海地震に加え、今回の東日本大震災

を考えると、防災意識と地震に対する備えは最も重要であると考えている。今回の東日本大震災をうけ、本町のみならず大阪府を始め、国も津波想定高に関する考え方を大きく変更させるを得ない状況にあり、海岸に面するすべての自治体の大きな課題となっている。ご指摘の津波ハザードマップにおいても見直しの実施、避難場所の確認や危険箇所等についても机上のみならず、議会の皆さんと一緒に議論をかさね検討していく。



委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 中川達夫

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(6月10日開催)

◎田尻町職員の育児休業等に関する条例一部改正の件
(非常勤職員の育児休業の取得等) 【全会一致で可決】

問 本町の嘱託員等も育児休業が取得できるようになるのか。

答 今回の改正で育児休業等を取得できるようになるのは一般職の非常勤職員である。本町では地方公務員法第3条第3項第5号の規定に基づく特別職の非常勤職員を雇用しており、今回の改正対象とはならない。

◎平成23年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件
(2,708万5千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

問 露ノ口住宅の跡地を売却するという事は、第2露ノ口住宅を建て替えないということになってくるが、第2露ノ口住宅が劣悪な住環境にならないよう、どのように対応していくのか。また、今後この住宅は廃止するのか。

答 第2露ノ口住宅は年間約700万円の費用をかけて、床や屋上防水など様々な改修を行ってきた。今後においても、改善計画に沿って改修に努めたい。また、今後建て替えの予定はないため、入居者の対応については、住み替え制度に基づいて検討していく。



反対討論 第2露ノ口住宅建て替えのための用地を売却することが含まれている。

文教厚生常任委員会

委員長 高木謙治

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(6月13日開催)

◎議員提出議案 田尻まちなか広場設置条例制定の件
(田尻まちなか広場の設置)

【賛成2、反対2、委員長採決で否決】

問 今回の制定理由に、幼稚園の3歳児保育の復活に繋げていく考え方が示されているが、本町が3歳児保育を休止したのは何年ごろか。

答 幼稚園の3歳児保育の休止は、5年程前と認識している。

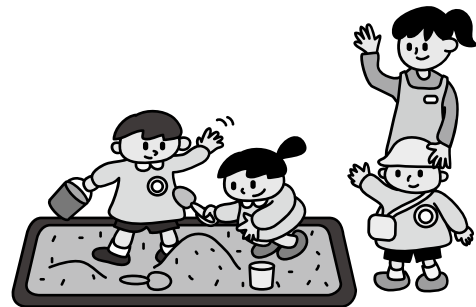
反対討論 震災後、町としてさまざまな対策等を検討をする必要があり、今は施設の移転や避難場所の指定をする時期ではない。

賛成討論 この施設の設置により、学童保育の子どもたちの引率問題の解消や幼稚園3歳児保育の復活にも繋げることができ、また、災害時の避難場所としても使うことができる。

◎平成23年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件
(2,708万5千円の増額) 【全会一致で可決】

問 府から地域福祉・子育て支援交付金が23万5,000円交付されるが、どのような事業を行うのか。

答 母親の育児に対する悩みや不安を解消するため、育児に携わる技術的なアドバイスが得られるような講習等を実施していきたい。



第2回 定例会議決結果

平成23年6月6日開会
平成23年6月21日閉会

件名	結果
● 人権擁護委員の推薦につき意見を求める件	全会一致で適任
● 田尻町職員の育児休業等に関する条例一部改正の件	全会一致で可決
● 田尻まちなか広場設置条例制定の件	賛成3：反対6で否決
● 平成23年度田尻町一般会計補正予算(第1号)の件	賛成5：反対4で可決
● 農業委員会委員推薦の件	全会一致で推薦
● 工事請負契約締結の件	全会一致で可決

災害対策特別委員会報告

7月7日の夜に出発した田尻町社会福祉協議会の「東日本大震災被災地支援活動ボランティアバス」は、田尻町在住の16名と町職員4名、社協局長、そして議会から2名の合計23名で宮城県南三陸町へボランティアに行ってきました。



(道沿いには横断幕)



(いたるところに漁船)



(少ない重機での作業)



(田尻町の片付け隊)

今回の全員が感じたことは、油断や過信の怖さです。田尻町は大阪湾だから大丈夫という油断を払拭し、過信することなく皆さんと一緒に災害対策を進めていきたいと考えています。

議会のうごき

5月

- 2日 新議員説明会
- 6日 議員懇談会
- 10日 第1回臨時会
議員総会
- 12日～13日 正副議長挨拶まわり
- 13日 南部地区議長会総会
- 16日～18日 南部地区議長会研修
全国町村議長会研修（東京）
- 20日 例月出納検査
- 23日 議会運営委員会
- 24日 府町村議長会定期総会

6月

- 6日 定例会（開会日）
- 10日 総務建設常任委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 17日 例月出納検査

- 21日 定例会（閉会日）
議会運営委員会
災害対策特別委員会打合せ会議
- 22日 空港関連対策特別委員会視察
- 27日 災害対策特別委員会
- 30日 泉佐野田尻町清掃施設組合議会

7月

- 4日 府後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 7日 広報委員会
- 12日 泉南郡監査委員連絡会
- 14日 広報委員会
- 15日 例月出納検査
- 21日 災害対策特別委員会
- 22日 府後期高齢者医療広域連合議会臨時会
- 25日 大阪広域水道企業団議会
- 27日～29日 決算審査

議場に国旗と町旗を掲揚しました



田尻議会の 千ヨット教えて



ハザードマップってナニ??



万が一の災害等に、住民の方々がすばやく安全に避難できることを主な目的に、被害の想定される区域と被害の程度などの情報や、避難場所などの情報を地図上に明示したものです。

本町には「津波ハザードマップ」があり、津波災害時における被害を最小限度に食い止めるため、予想される浸水被害の程度や避難所などの防災情報をわかりやすくマップに表示しています。（マップは町のホームページでご覧いただけます。）

なお、東日本大震災に伴い、町は津波ハザードマップを含めた地域防災計画の見直しに取り組んでいます。

